

2 北海道における教員育成指標

1 指標策定の目的

- 教員等の資質能力の向上を進めるためには、教員等一人一人が、教職としての目標をもって、日常の教育実践を行うとともに、教員同士が同じ方向に向かって学び合える環境を構築することが大切です。
- 道教委では、本道の全ての教育関係者が、教員等の資質能力について目標を共有するため、資質向上の目安として、本育成指標（以下「育成指標」）を策定し、大学や市町村教育委員会、学校等との連携により、教員等の養成・採用・研修の一体的な充実に向けた取組を推進しています。

2 教員養成の考え方

育成指標では、本道教員等一人一人が資質能力を高め、各学校において、質の高い教職員集団を構築できるよう「教員養成の考え方」を示しています。

【教員育成の考え方（要旨）】

質の高い教職員集団を構築するためには、子どもたちへの深い教育的愛情に裏付けされた日常の教育実践や自己研鑽を進めるとともに、教員等として共通的に求められる資質能力の向上や個性・長所の伸長を図ることが大切です。

そのため、教員等一人一人の経験年数や専門性、目標等に応じ、「現場での経験」と多様な研修の機会を効果的に組み合わせ、個別最適に学びを進めていくとともに、「現場での経験」を重視し、学校課題に対応した協働的な学びを組織全体で行い、成果を共有することにより、学び合う同僚性の下で、資質能力を高めていくことが重要です。

3 北海道が求める教員像

育成指標が示す「求める教員像」は、大学での教員養成や現職教員の教育実践、研修などの基盤として、全ての教育関係者で共有したい姿です。

この教員像は、北海道の教員等として画一的な姿を求めるのではなく、教員等が長所や個性を生かしながら生涯にわたり資質能力の向上を図っていくための目安として示したもので、一人一人の教員等が、「求める教員像」を基盤としながら、個性豊かで人間味にあふれ、子どもたちへの深い教育的愛情をもった教育の担い手となることが期待されます。

北海道における「求める教員像」

【教職を担うに当たり必要となる素養に関連する観点】

- **教育者として、強い使命感・倫理観と、子どもへの深い教育的愛情を、常に持ち続ける教員**

【教育又は保育の専門性に関連する観点】

- **教育の専門家として、実践的指導力や専門性の向上に、主体的に取り組む教員**

【連携及び協働に関連する観点】

- **学校づくりを担う一員として、地域等とも連携・協働しながら、課題解決に取り組む教員**

4 キーとなる資質能力

育成指標では、「求める教員像」の実現に向けて、本道の教育課題や学校現場の現状なども踏まえた身に付けるべき具体的な資質能力を「キーとなる資質能力」として設定し、キャリアステージや専門性等に応じた資質能力向上の目標や目安として、「教員育成指標スタンダード」及び「校種別教員育成指標」「職種別教員育成指標」「管理職育成指標」を示しています。

ここでは、教員の「キーとなる資質能力」一覧を掲載します

育成指標の詳細は、教職員育成課のWEBページから参照ください。



教員の「キーとなる資質能力」一覧表			
○ 教育者として、強い使命感・倫理観と、子どもへの深い教育的愛情を、常に持ち続ける教員			
キーとなる資質能力	教育的愛情	・子ども一人一人の個性を尊重し、よさや可能性、成長の余地などに目を向け、それを伸ばす	
	使命感や責任感・倫理観	・子ども一人一人の学びに責任をもち、時代に応じた教育、学校の社会的役割及び教育公務員として遵守すべき法令等を理解し、職務上の義務を果たす	
	総合的人間力	・社会体験や保護者、地域との関わりの中で、人間性、社会性、協調性を高める	
	教職に対する強い情熱・人権意識	・教職への誇りをもち、人権意識に基づき、教育活動において全ての子どもを尊重する	
	主体的に学び続ける姿勢	・情報収集や各種研修等を通して、必要な資質能力を身に付けるために学び続けようとする	
○ 教育の専門家として、実践的指導力や専門性の向上に、主体的に取り組む教員			
キーとなる資質能力	教科等や教職に関する専門的な知識・技能	・教職の意義や教員の役割、教科等や職務内容に関する専門的な知識・技能を身に付け、職務に生かす	
	授業力	・学習指導要領等を踏まえ、子どもの心身の発達や学習過程について理解し、ねらいを明確にした学習者中心の授業を展開する ・子どもの興味・関心を引き出す教材研究や協働した授業研究を行う	
	今日的な教育課題への対応力	主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善	・「主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善」について理解し、授業づくり・実践・評価・改善等を行う
		カリキュラム・マネジメント	・カリキュラム・マネジメントの意義を理解し、教育活動の不断の検証・改善を行う
		道德教育の充実	・道德教育の目標を理解し、道德科をはじめ、学校の教育活動全体を通じて、道德教育を実践する
		外国語教育・国際理解教育の充実	・外国語教育や国際理解教育の重要性や課題を理解し、実践に生かす
	子ども理解力	・子どもに積極的に関わり、子ども一人一人の心身の発達の過程や特徴、背景や環境を含めて的確に子どもを捉える	
	生徒指導・進路指導力	・個や集団を指導するための手立てを理解し、個々の悩みや思いを共感的に受け止め、学校生活への適応や人格の成長を援助する ・子どもの個性や能力の伸長と健全な心身の育成を通して、自己実現を図る指導を行う	
	学級経営力	・子ども同士のコミュニケーションを促進し、計画的に望ましい集団をつくり上げる ・子どもたちとの信頼関係を構築して、それぞれの可能性や活躍の場を引き出す	
	特別な配慮や支援を必要とする子どもへの対応力	・特別な配慮や支援を必要とする子どもの特性等を理解し、実践に生かす ・組織的な対応に必要な知識・支援方法を理解し、学習上、生活上の支援を工夫する	
	I C Tや情報・教育データを利活用する力	・授業や校務等でI C Tを効果的に活用するとともに、子どもの学習の改善を図るため、教育データを適切に活用する ・子どもの情報活用能力を育成する授業実践を行う	
	○ 学校づくりを担う一員として、地域等とも連携・協働しながら、課題解決に取り組む教員		
キーとなる資質能力	学校づくりを担う一員としての自覚と協調性	・職業観や人間関係のほか、公共心や社会通念などの重要性を理解し、それに基づき行動する	
	コミュニケーション能力 (対人関係能力を含む)	・考えや学校の方針等を分かりやすく伝えるとともに、相手の意図を理解し意思疎通を図り、良好な人間関係を構築する	
	組織的・協働的な課題対応・解決能力	・自らの学びと実践を省察を通して身に付けた課題対応・解決能力を生かし、他の教職員と積極的に関わり、学校運営の持続的な改善に求められる役割を果たす ・危機管理の知識や視点を身に付け、職務に生かす	
	地域等との連携・協働力	・子どもの家庭及び地域社会の状況や自身や学校の強み・弱みを理解し、保護者や関係機関等と連携・協働して取り組む	
	人材育成に貢献する力	・支え合える環境をつくるとともに、他の教職員を積極的に支援する	

